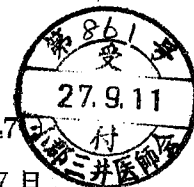


(総研 47)

平成 27 年 9 月 7 日



都道府県医師会長 殿
都市区医師会長 殿

公益社団法人 日本医師会
日本医師会総合政策研究機構
所長 横倉 義武



「第12回 日医総研地域セミナーの開催」について
(日本医師会総合政策研究機構・地域セミナーへの参加者募集のご案内)
―病院・診療所・医師会館等建設発注のための建設セカンドオピニオンと
省エネ対策・コスト削減方策等について―

拝啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

日医総研では、平成14年度から病院や診療所等建設のコスト削減や、建設後の運営に際して安全で効率的な建物を建設するため、「建設セカンドオピニオン」の有効性と方法論について、ケーススタディを中心に研究を行って参りました。

そしてこの研究の結果、建設セカンドオピニオンによる建設コスト削減効果や、設計事務所や建設業者との契約において、発注者（医療側）の不利な状況が明らかになるとともに、これに対抗する方法等様々な研究結果が得られました。

そこで医師会員（代理者も可）や医師会の担当者更には入会予定者の方々に、設計事務所の選定、設計事務所との設計・監理委託契約や、入札による施工業者の選定等において、発注者（医療側）が不利にならない方法を中心に、「第12回 日医総研地域セミナー」を日医会館で平成27年11月28日(土)午後開催することと致しました。

今回は、上記に関する情報をご提供・解説するとともに、病院等非住宅における省エネ対策や、コスト削減の方策等についてもご説明させていただきます。

つきましては、別紙「第12回 日医総研地域セミナー参加者募集のご案内」について、貴医師会会員及び担当者の方々に、ご案内頂きますようお願い申し上げます。

なお申込は、添付の「第12回 日医総研地域セミナー参加申込書」に必要事項をご記入の上、日医総研宛 FAX にてお送り下さいますよう、お願い申し上げます。

敬具

小郡三井医師会より

医業経営担当理事 田中久志
会長 廣瀬真恵

第12回 日医総研地域セミナー参加者募集のご案内

参加者募集の概要と申込方法等

- ◆主催：日医総研
- ◆テーマ：一病院・診療所・医師会館等建設発注のための建設セカンドオピニオンと最近の建設費高騰の動向・コスト削減方策等について
- ◆開催日時：平成 27 年 11 月 28 日（土）午後 1 時～4 時 30 分
- ◆場所：日医会館、3 階 小講堂
(東京都文京区本駒込 2-28-16、電話番号(代)/03-3946-2121)
- ◆募集対象：日医会員、医師会担当者及び入会予定者
- ◆募集定員：100 名
- ◆参加料：無料(交通費等は本会では負担致しません)
- ◆申込方法：参加希望者は添付申込用紙に以下の要件を記入し、日医総研宛て F A X でお申し込みください。(一名一名用紙を換えて記入して下さい)
 - ・参加者氏名(日医会員(代理の場合は、会員の氏名と代理の方の氏名)、医師会担当者、入会予定者)
 - ・所属医師会名
 - ・連絡先住所・電話番号・F A X 番号
 - ・所属機関名(役職)なお、日医総研 F A X 番号は(03-3946-2138)です。
- ◆応募の締め切り：平成 27 年 11 月 19 日(木) <ただし、定員に達した段階で応募は締め切らせて頂きますので、ご了承をお願い致します>
- ◆受講可能な方への連絡等：受講出来る方には、「参加証」を 10 月中旬以降に順次お送りしますので、当日必ずご持参ください。
- ◆本件問い合わせ先：日医総研・地域セミナー担当 畑仲
(電話番号/03-3942-6472 までお願いします)

<開催プログラムと配布資料>

- ◆第一講演：医療機関等建築発注者のための建設セカンドオピニオン入門
～建築発注者が抱える問題から建設工事発注請負契約までの諸問題～
- ◆第二講演：建築物の省エネルギー基準の改正等について
- ◆第三講演：「設計から建設発注までのチェックポイント」と
「一般社団法人 建設セカンドオピニオン医療機構」の提供体制・方法について
- ◆配布資料：「医療機関等建築発注者のための建設セカンドオピニオン入門」
「2012 年・2013 年(2011 年度・2012 年度)民間医療機関全体(診療所及び病院)における地球温暖化対策フォローアップと電力供給等に関する研究」等

FAX 03-3946-2138

日本医師会総合政策研究機構 行き
(日医総研地域セミナー担当)

平成 年 月 日

第12回日医総研地域セミナー

(日本医師会総合政策研究機構・地域セミナー)

【開催日：平成27年11月28日(土)、日医会館】

参加申込書

参加申込者は、一人一人用紙を換えて記入して下さい。

1 参加申込者氏名： _____

(日医会員(代理の場合は、会員の氏名と代理の方の氏名)、医師会担当者及び
入会予定者)

2 所属医師会名： _____ 都道府県 _____ 医師会 _____

3 連絡先住所：

郵便番号 _____

4 連絡先電話番号： _____

5 連絡先FAX番号： _____

6 所属機関名： _____

役職名： _____ (出席する方)

「第12回日医総研地域セミナー 開催プログラム」

(日本医師会総合政策研究機構・地域セミナー)

－病院・診療所・医師会館等建設発注のための建設セカンドオピニオンと
最近の建設費高騰の動向・コスト削減方策等について－

(平成27年11月28日(土)、会場:日医会館 小講堂)

開講(午後1時)／開会の挨拶

第1講演(午後1時10分～2時)／医療機関等建築発注者のための建設セカンドオピニオン入門

講師:畑仲 卓司(日医総研 主席研究員)

- 1 なぜ建設セカンドオピニオンが必要とされるのか
- 2 建設事例等に見る建設発注に与える様々な問題
- 3 建設セカンドオピニオンの定義・内容とその実績・成果
- 4 設計事務所選定のための設計競技の実施
- 5 設計事務所との建築設計・監理業務委託契約書の締結
- 6 入札による建設会社の選定
- 7 我が国の第21回気候変動枠組条約締約国会議(COP21)への対応について

<休憩(午後2時～2時5分)／参加者による質問書の作成>

第2講演(午後2時5分～2時55分)／建築物の省エネルギー基準の改正等について

講師:鍵和田 一三(一般社団法人 建設セカンドオピニオン医療機構)

- 1 住宅・建築物の省エネルギー施策について
- 2 省エネルギー基準改正の概要
- 3 病院等非住宅に係る省エネルギー基準の改正
- 4 省エネルギー措置の届出

<休憩(午後2時55分～3時)／参加者による質問書の作成>

第3講演(午後3時～3時50分)／「設計から建設発注までのチェックポイント」と

「一般社団法人 建設セカンドオピニオン医療機構」の提供体制・方法について

講師:磯村 榮治(一般社団法人 建設セカンドオピニオン医療機構・理事長)

- 1 建築界の構造的問題
- 2 事業化、設計、施工のプロセス
- 3 過去の事例
- 4 建設セカンドオピニオンの立場と目的
- 5 最近1年間の傾向

<休憩(午後3時50分～3時55分)／参加者による質問書の作成>

質疑応答(午後3時55分～4時30分)／講演及び今後の建設セカンドオピニオン活用について

講師:畑仲 卓司

講師:磯村 榮治

講師:鍵和田 一三

閉講(午後4時30分)／閉会の挨拶

参考資料：第12回日医総研地域セミナー開催の趣旨

－病院・診療所・医師会館等建設発注のための建設セカンドオピニオンと

省エネ対策・コスト削減方策等について－

病院・診療所や医師会館等建設におけるコスト削減や建物の安全性確保、更には建設後の運営に際して適切な建物を実現するためには、医療機関側に立った専門家による設計内容のチェックや建設見積額の査定等、建設に際しての適切な助言や資料提供等が大きく求められています。

しかし、これまでは本当に医療機関側だけに立って、専門的な視点から、病院等の設計内容や建設見積額等について、適切な助言等を行う方法や主体は存在してきませんでした。

そこで日医総研では日医会員のご協力により、平成14年度より医療機関側に立って専門的な視点から適切な助言等を行う、「建設セカンドオピニオン」の有効性の検証とその方法論のあり方について、ケーススタディを中心とした研究を行い前記課題に取り組んできました。

「建設セカンドオピニオン」の内容

新たな病院・診療所や医師会館等の建設や既存施設の増築、及び耐震・省エネ改修等において、建設費のコストベネフィットが高くかつ建物として安全で、建設後の運営も適切に行える施設等を建設するために、設計事務所の選定・企画競争(コンペ)と契約への助言から始まって、基本計画・基本設計・実施設計の評価・助言、設計見積書の査定、建設業者の入札・契約への助言や、施工現場及び竣工時の各種チェックや助言等まで、経験豊富な専門家集団が医療機関側に立った意見を医療機関に提出することによって、適正な建設費や新築・改修計画の実現に資することを目指しています。

こうした研究を進める中、本来医療機関等発注者側に立つべき設計事務所が、必ずしも医療側に立っていないために、医療側が不利益を被ることが見られました。

このため、病院や診療所等の建設に際しては、設計事務所の「選定」や、設計事務所との「契約」、及び建設業者選定に際しての「入札業務」、更には建設業者との「契約」等に関する知識が発注者側に必要とされています。そして、発注者側に立った設計事務所との「契約書」や、建設業者に対する「入札要綱」、更には建設業者との「請負契約書」といった書式の整備も、必要なことが明らかになりました。また、診療所の設計・建設発注に際しても、同様なことが言えます。

このため日医総研では、医療側に立った設計事務所との「モデル契約書」や、建設業者選定の「モデル入札要綱」、更には建設業者との「モデル請負契約書」を作成し、コスト削減を実現するとともに、モデル契約書で概ね契約をすることが出来ました。

そこで日医総研では、医師会員や医師会の担当者及び入会予定者の方々に、これら研究成果をご理解して頂くため、表記のような「日医総研地域セミナー」を開催することとしました。

今回は併せて、我が国の第21回気候変動枠組条約締約国会議(COP21)への対応に伴う省エネ対策や、コスト削減の方策等についてもご説明させていただきます。